

なかのと

社会福祉法人 中能登町社会福祉協議会

 ふれあいネットワーク

社協だより

第53号

令和5年9月14日発行

入場無料

第18回

中能登町

福祉

のつどい

開催日

10月1日(日)

13:00 ~ 16:00

会場

ラピア鹿島

中能登町井田に部 50

◆ 表彰式典 13:00 ~

◆ 記念講演 14:30 ~

「生きがいの持てる人生」

～ 不安な世の中を

生き抜く智慧 ~

講師：僧侶・番組パーソナリティ

川村 妙慶 氏



◆ 催しもの 13:00~16:00

- ◇ 福祉施設&サロン作品展示
- ◇ セルフ商品販売
- ◇ お抹茶席 200円
- ◇ 福祉に関するコーナー

など



◇ フードライブコーナー

ご家庭で余っている食品をお持ちください。

集まった品々は、町内の生活困窮者へお渡しします。

(対象となる食品)

- ・賞味期限が2ヶ月以上残っているもの
- ・未開封、常温で保存できるもの

◇ 赤い羽根共同募金

10月1日から始まる赤い羽根共同募金運動に
合わせ、街頭募金を実施します。

ご協力をお願いします！

令和5年度 賛助会員募集中

◆ 皆さまからの会費が地域福祉を支えています！

中能登町社会福祉協議会では、町民の皆さまをはじめ、社会福祉関係者などの関係機関の参加・協力のもと、「誰もが安心して暮らすことができるまちづくり」の実現をめざして活動を行っております。社協の活動に賛同していただける町民や企業、団体の皆さまに対して賛助会員への加入をお願いしており、会費は皆さまの身近な地域の各種福祉事業を進める上で大切な財源となっております。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

普通賛助会員(個人) 一口 1,000円

法人賛助会員(企業・団体) 一口 5,000円

【お申し込み先】

中能登町社会福祉協議会(保健センターすくすく内)

老人福祉センター「ゆうゆう」、老人福祉センター「天平の里」、健康ハウス「憩」

- ★ボランティア活動・サロン・福祉教育のために！
- ★地域福祉活動のために！
- ★福祉情報を伝えるために！



社会福祉法人中能登町社会福祉協議会

「誰もが安心して暮らすことができるまちづくり」

令和4年度 収支決算報告

(単位：円)

令和5年度 収支予算

(単位：円)

収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
賛助会費	628,500	職員人件費	147,517,494	賛助会費	730,000	職員人件費	154,582,000
寄付金	230,000	事業費	56,501,901	寄付金	300,000	事業費	59,758,000
町補助金・共同募金	44,766,678	事務費	26,405,401	町補助金・共同募金	44,997,000	事務費	26,821,000
事業受託金	42,829,213	福祉団体等助成金	231,600	事業受託金	46,482,000	福祉団体等助成金	575,000
温浴施設利用料	12,827,875	各種負担金	100,110	温浴施設利用料	12,084,000	各種負担金	101,000
介護事業	123,076,218	支払利息	16,407	介護事業	134,642,000	積立資産費	300,000
障害福祉サービス事業	1,062,240	リース債権返済費	693,537	障害福祉サービス事業	1,012,000	予備費	800,000
その他事業	14,000	資産積立費	230,000	その他事業	15,000	次期繰越金	78,130,000
預金利子等	995	次期繰越額	76,708,060	預金利子等	11,000		
その他	4,629,241			その他	794,000		
積立資産取崩	857,300			前期繰越金	80,000,000		
前期繰越資金	77,482,250						
収入合計	308,404,510	支出合計	308,404,510	収入合計	321,067,000	支出合計	321,067,000

【基本理念】 「誰もが安心して暮らすことができるまちづくり」

- 誰もが参加し、ともに考え、行動できるまちづくり
- 困っている人の立場に立ち、手助けするまちづくり
- ネットワークを築き、ともに協力し合えるまちづくり

【重点目標】

1. 地域福祉を推進する事業の企画と実施
2. 感染症発生時及び災害時における業務継続計画（BCP）の策定
3. 多様なボランティア活動の推進と有償ボランティア制度の確立
4. 老人福祉センター及び健康ハウス憩の利用促進
5. 個人を尊重し、自立支援を目指した介護サービスの提供
6. 介護人材の確保



《主な取り組み》

◆法人運営事業の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員の加入促進に向けた積極的な取り組み ・感染症発生時及び災害時における業務継続計画の策定
◆地域づくり・人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉見守りマップの推進及び地域福祉推進チーム活動の支援 ・福祉教育の推進のためにふくし出前講座を実施 ・在宅介護支援体制の強化等を目的とした介護職員初任者研修の実施 ・地域福祉研修会、地域福祉講演会、福祉のつどいの開催 ・高齢者に役立つ情報（地域資源）の紙面化及び SNS 発信 ・高齢者の介護予防や見守りを目的とした地域つながりサロンの支援 ・有償ボランティア事業の推進
◆相談・支援事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関する心配ごと相談の開催（毎月 20 日） ・福祉サービス利用に関する相談、情報提供や手続きの支援 ・生活福祉資金貸付の相談援助支援 ・町社協独自貸付のたすけあい金庫貸付サービスの確立
◆広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の広報啓発活動（社協だより、ホームページの充実）
◆共同募金事業	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動の展開
◆介護事業の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルプ、デイサービス、ケアプランの作成等、認知症デイ
◆老人福祉センター 健康ハウス運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター天平の里 ・老人福祉センターゆうゆう ・健康ハウス憩
◆保健センター管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターすくすくの適切な施設管理

◆ 母子寡婦福祉会 ◆

〓 母子寡婦交流会 〓

令和5年6月11日(日)

母子寡婦会員の交流を深めるために、やまびこ荘(七尾市)にて陶芸体験とバーベキューを開催しました。

陶芸体験では、葉っぱを使って模様づけしたお茶碗や、個性的な取手のコーヒーカーップ、可愛い箸置きなど工夫を凝らした作品が仕上がりました。



〓 母子交流会 〓

令和5年7月9日(日)

母子親子を対象に、鹿島少年自然の家(高島)にてうどん打ちと釣り体験を開催しました。



人、恐る恐るうどんを切る人など様々でしたが、美味しい出来上がり一同大満足でした。

★ 母子寡婦福祉会会員募集中 ★

中能登町在住のひとり親家庭(母子、父子)の方、寡婦の方ならどなたでもご入会できます。お気軽に社会福祉協議会までお問合せください。

◆ 身体障害者福祉会 ◆

〓 温泉療養会 〓

令和5年8月3日(木) 4日(金)

和倉温泉「ホテル海望」にて3年ぶりに開催され、会員14名が参加しました。

久々に顔を合わせた皆さんは親睦を深め、ゆっくりと温泉につかり日頃の疲れを癒しました。宿泊当日は夏花火も上がり、鑑賞した皆さんからは大きな歓声とたくさん笑顔が広がっていました。

★ 身体障害者福祉会会員募集中 ★

身体障害者福祉会では、会員を募集しています。当会では、温泉療養や県内各種スポーツ大会などに積極的に参加しています。中能登町在住の障害者手帳をお持ちの方ならどなたでもご入会できます。お気軽にお問合せください。

◆ ふくし出前講座 ◆

〓 高齢者疑似体験 〓

令和5年5月1日(月) 6月28日(水)

鹿西小学校と鳥屋小学校の4年生に対して高齢者疑似体験を行いました。

耳が聞こえにくくなったり、体が動きにくくなる状態を体験してもらったので終わらず、そこからお年寄りに対して何ができるのか考えてもらいました。



◆ 遺族会 ◆

〓 中能登町戦没者 〓

慰霊式・慰霊法要

令和5年8月9日(水)

ラピア鹿島にて、中能登町戦没者慰霊式および追悼法要が営まれました。遺族や関係者らが集い、戦没者の冥福を祈りました。

慰霊式では、遺族の代表者より、献灯、献水、献花が捧げられました。



赤い羽根共同募金運動 ～じぶんの町をよくするしくみ～



◆ 10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります！

今年で76回目を迎える赤い羽根共同募金への寄付金は、誰もが暮らしやすい地域づくりを目的とし地域福祉の推進を図るため、「じぶんの町をよくするしくみ」として重要な役割を担っています。赤い羽根共同募金の約9割は町内の身近な福祉活動に、約1割は県内の広域的な福祉活動に役立てられています。

歳末たすけあい募金の全額は町内の高齢者や障がいのある方や子どもたち等を支援するために役立てられています。

これらの共同募金委員会の活動は、町民の皆様から寄せられる募金により支えられています。

10月1日に行われる「中能登町福祉のつどい」にて街頭募金を実施します。ご協力よろしくお願ひします。



昨年の街頭募金の様子

「我が町の社会福祉法人」

福祉のこと！
社会福祉法人のこと！
もっと知って欲しいから

「中能登町社会福祉法人連絡会」参加社会福祉法人

- ◆鹿南福祉会鹿寿苑
- ◆西永寺福祉会とりやのの子ども園
- ◆つばさの会
- ◆中能登町社会福祉協議会

社会福祉法人は、社会福祉事業を行うことを目的として社会福祉法に基づいて設立され、「地域における公益的な取組」をすることが責務とされています。事業所や施設の福祉サービスの利用者だけではなく、地域の誰もがいつでも安心して暮らすことができる町づくり・人づくりを目指して、人々を支える取り組みを実践していきたいと考えています。町内4社会福祉法人は、更に地域に根差した社会福祉法人となるよう、連携や協働でできることを協議しています。現在は、「ふくし出前講座」を通じて、各施設の職員が地域に出向き、福祉のことや施設のこと等お話をさせていただいています。今後も、地域に様々な貢献ができるよう、取り組みを進めてまいります。

「我が町の社会福祉法人」第2弾！「社会福祉法人とりやのの子ども園」を紹介します！！

◆「とりやのの子ども園」について

とりやのの子ども園は、昭和9年西永寺本堂にて季節託児所から始まった施設です。終戦後、昭和22年児童福祉法制定に伴い「末坂保育所」に、平成10年4月1日改築移転（春木地区）とともに「とりやのの保育園」に、平成30年4月1日幼保連携型認定こども園に移行のため「とりやのの子ども園」と名称を変更し、現在に至っています。

幼保連携型認定こども園は、保育園と幼稚園の機能を併せ持ち、教育・保育を一体的に行う施設です。

多子時代から少子化時代へと、社会変動で子どもの取り巻く環境も大きく変わり、年齢別保育から異年齢児保育に移行し、教育・保育を行っています。

<当園の教育保育方針>

- ①主体性を育てる保育
- ②一人ひとりの特性に応じた保育
- ③自発的な遊びを通じた保育
- ④かかわりを大切にした保育

この4つの柱を中心として、さらにSTEM教育【S(科学)・T(技術)・E(工学)・M(数学)】を取り入れ、子どもの健やかな成長・発達の援助を行い、自発的・創造的に学び自ら表現して考え、問題を解決する能力を培う人材の育成を目的としています。

◆ 発達を基本とした異年齢児保育



0・1歳児は、発達の連続性を踏まえて一緒に保育をしています。

2歳児は、自我の芽生えを大切にするとともに、自らの活動を十分に保障するために、年齢別のクラスで保育をしています。

3・4・5歳児は、異年齢児保育をしています。一斉に同じことをするのはなく、子どもたちの発達に合わせ、子ども同士のかかわりを大切にした教育保育を行っています。

◆ 食 事



3歳児以上の食事はセミバイキング方式で行っています。当番の人に自分の食べたい量を伝え、よそってもらうスタイルです。子どもたちが人と

かかわる場面をあえて設定しています。何でも好きな物を取り放題、自分勝手によそって自分で勝手に食べるというスタイルではありません。会話を通して子どもたちは、自分の言葉で自分の考えを伝えることを学び、相手の考えを理解しようとする力を育てています。そして、今日の自分はどれくらい食べることができるのだろうかという見通しを立てることも学んでいます。

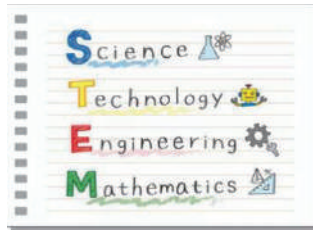
社会福祉法人西永寺福祉会
とりやのの子ども園
中能登町春木 11-38 ☎74-0135



◆ STEM 小さな科学者



いろんな事に好奇心や興味関心をもつ子どもたちが、やってみたいと思うことに対し、様々な教材や身近なものを使い実験することで学びにつなげています。子どもたちの不思議がる心に共感しながら、いろいろ発見を楽しんでいます。



けんぴきょうで塩の結晶をみたよ！

【高校生の取材報告】 といやのの子ども園を訪問しました!!

協力：石川県立鹿西高等学校

長原園長先生、鑄山副園長先生にお聞きしました！

★園での先生方の1日のスケジュールを教えてください

○職員は園長、副園長、保育教諭、看護師、栄養士、調理員がいます。保育教諭は、7時から19時までローテーションで勤務しています。園では異年齢児保育を実施しています。3〜5才児は一緒に保育をするのではなく、園児一人ひとりが自発的、意欲的に活動ができるよう発達段階に応じてゾーンを用意し、興味、関心、習熟度に応じた「選択の機会」を多く準備しています。

★幼保の幼は教育中心ですが、特徴を教えてください

○子どもの自立・主体性等の成長を支え、見守ることが大事です。生活する力、かかわる力、学ぼうとする力を身に付けてほしいと考えています。時代の変化とともに、時代に対応できる力を育み引き出し、将来を力強く生きていくための保育を目指しています。

★幼保連携型認定こども園ではどのような資格が必要ですか

○保育士資格と幼稚園教諭免許の2つの資格が必要となります。

★こども園で大変なことは何ですか

○重大な事故が起こらないよう、怪我をしないよう配慮しています。子どもたちが沢山の経験から、危険回避ができる力を身に付けてもらえるような保育をしています。

★やりがい・原動力は何ですか

○子どもたちが「先生」といって駆け寄って来てくれたり、お手紙を書いて渡してくれるのが嬉しいし、宝物だし、明日の力となります。○子どもたちは大人が気付かないようなことを、やわらかい感性で教えてくれ、勉強になるし、とても嬉しく感じます。



【取材感想】田中 亜依さん (2年生)

私は、インタビューや見学を通してたくさんのお話を学びました。特に印象に残ったことは、子どもたちがいろんなことに挑戦したり、年齢を問わず遊んでいることです。私は、これらのことが将来にはとても必要なことだなと思っています。同じ空間に異年齢児がいることで、学びやいろんな遊びができ、すごく工夫されているなど感じました。また、その空間の中でもゾーンが分けられていて、そこで行うことがきちんと整理できていることを知りました。特にSTEMゾーンでは、科学的な実験ができると聞いて驚きました。

見学を通して感じたことは、異年齢保育を大切にすることで子どもたちを尊重し、選択の機会を作っていることや、2歳児の子どもたちが自分で片づけをしている姿を見てすごいなと思いました。今回、インタビューや見学を通して沢山の学びを得ました。これを忘れずに今後の進路に生かしていきたいです。

【取材感想】片山 樹杏さん (2年生)

幼保連携型認定こども園は幼稚園と保育園の機能を兼ね備えています。今回の見学を通して、小学生や中学生、大人になっても力強く自分を持って生きていくため、小さいときから持っている力を発揮できるように、押し付けはせず、失敗しても怒らないことが次に繋がるので、見守ってあげることが大切なんだとわかりました。2歳児の子でも自分のコップを袋の中に入れ片づけをしていることに驚きました。

子どもたちに好きな遊びを聞くと、「工作やお絵描き、ブロックを友達と一緒にすることが楽しい」と、笑顔で明るく教えてくれました。楽しめるものが沢山あると、生活が充実出来ることわかりました。好きな行事を聞いた時も、BBQやリング狩り、おとまり会、お楽しみ会と、沢山の楽しい行事を教えてくださいました。1年を通して、園では沢山の行事があり、季節を実感することができ、子どもたちも生き生きとしている姿が印象的でした。

◆ 「日常生活自立支援事業」を知っていますか？ ◆

社会福祉協議会が福祉サービスを利用するための手続きや、日常生活の金銭管理のお手伝いをします。

～ こんな人が利用できます ～

対象者は、認知症高齢者や知的・精神に障がいのある方で判断能力に不安を抱える方です。ただし本人にこの事業を利用する意思があり、契約内容をある程度理解できることが前提です。

～ 支援の内容 ～

- ① 介護・福祉サービス利用のお手伝い
- ② 日常的な金銭管理のお手伝い
- ③ 大切な書類などのお預かり
- ④ 日常生活に必要な手続きのお手伝い（相談・助言）

本人以外の家族など身近な人でも相談できます。詳細は、社会福祉協議会（74-2252）までご連絡ください。

介護事業所



～ サービスに対する要望苦情等について ～

サービスに対する要望苦情等を気軽にお聞かせください。ご要望にお答えできるよう努めてまいります。

- 苦情責任者 社会福祉協議会事務局長 土屋 哲雄
- 苦情受付担当 【訪問介護】 大江 朱見
- 【居宅介護支援】 山本 美栄子
- 【通所介護】 二宮 佳之
- 【認知症対応型通所介護】 黒氏 仁

事務所に直接ではなく、第三者委員への相談も可能です。

- 第三者委員（民生委員児童委員）
大村 義一 四伊 深雪 原 義美

◆ 令和4年度収集 ボランティアお礼 ◆

～ ご協力いただきありがとうございました ～

小幡順子 様、中川陸雄 様、法橋三千代 様
百海貞子 様、澤間 武 様、赤坂裕美子 様
道坂征男 様、梶井順子 様、久水むつみ 様
表 宏江 様、木村延子 様、向田由美子 様
笹谷俊子 様、横井和子 様、辻口こずえ 様
山崎澄子 様、加藤正寛 様、佐々木美智子 様
北原二正 様、宮川順子 様、つばさの会 様
一青の家 様、志賀中学校 様、匿名（順不同）

社協では、引き続き使用済み切手・ベルマーク・未使用ハガキ・使用済みインクカートリッジを集めております。家庭や職場で気軽に参加できるボランティア活動にぜひご協力ください！

お知らせ

◆ 福祉に関する心配ごと相談 ～お気軽にご相談ください～

身近な民生委員児童委員が福祉に関する心配ごとをお聞きします。相談者の秘密は厳守いたします。生活困窮者自立支援制度のお問い合わせにも対応しています。

【時 間】 午後2時～4時

【場 所】 中能登町役場 行政サービス庁舎

（中能登町能登部下91部23番地）

【相談日】

9月20日（水）
10月20日（金）
11月20日（月）
12月20日（水）
1月22日（月）
2月20日（火）
3月21日（木）



誰もが安心して暮らすことができる まちづくり

□ 社会福祉法人 中能登町社会福祉協議会

〒929-1704 中能登町末坂2部57番地1
（保健センターすくすく内）
TEL(0767)74-2252 FAX(0767)74-2253
E-mail nakanoto.syakyou@tiara.ocn.ne.jp

□ 老人福祉センター 天平の里

〒929-1815 中能登町芹川ス部1番地
TEL・FAX(0767)76-0088

□ 老人福祉センター ゆうゆう

〒929-1704 中能登町末坂2部37番地1 TEL(0767)74-2278

□ 健康ハウス 憩

〒929-1621 中能登町金丸143番地 TEL(0767)72-3970

□ デイサービスセンター ひまわり

〒929-1602 中能登町能登部上子部30番地
TEL(0767)72-3983 FAX(0767)72-2141
E-mail nakanoto-kaigo@gaea.ocn.ne.jp

□ 認知症対応型デイサービスひまわり

TEL(0767)72-3983

□ 中能登町社協居宅介護支援センター

TEL(0767)72-3087

□ 中能登町社協ヘルパーステーション

TEL(0767)72-3087